

街路灯用ポール

品番	ポール高さ(mm)	先端径 (mm)	上部柱径 (mm)	下部柱径 (mm)	仕様	材質	表面処理
DYDX3300	3500	φ 76.3	φ 89.1	φ 114.3	埋込式	鋼管	錆止め塗装

・照明用ポールの配線工事には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 **工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

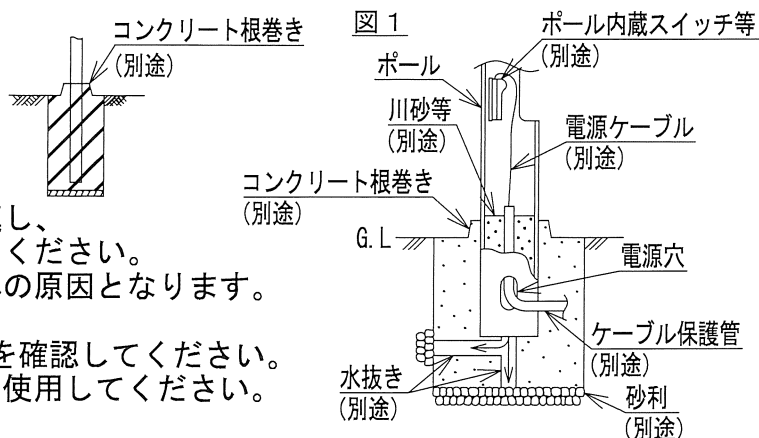
安全に関するご注意

⚠ 警告

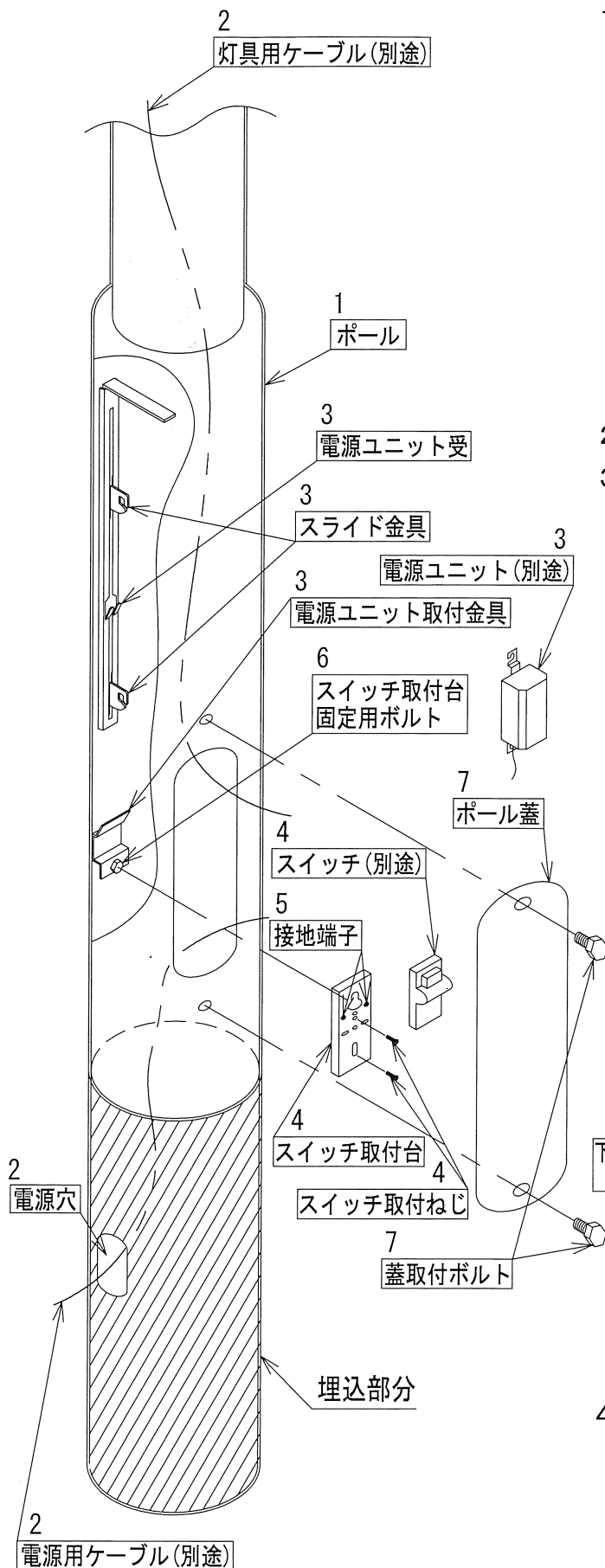
- 施工は施工説明にしたがい確実に行う。
施工に不備があると感電・落下・ポール転倒の原因となります。
- 接地工事(D種接地工事)を確実に行う。
取り付ける灯具には個別に接地工事を行う。
接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 器具の改造や架空配線、適合照明器具以外のものの取り付けは、絶対に行わない。
発火・感電・落下・ポール折れの原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所(橋や高架上等)、腐食性ガスの発生する場所、塩害地域、浴室、屋内プール、粉塵の多い場所等では使用しない。
発火・感電・落下・ポール折れの原因となります。
- ポール本体及び基礎は事前に取り付ける灯具を確認のうえ、十分な強度を有するものを用意する。
強度が不十分な場合はポール転倒の原因となります。
- 電源線工事はケーブル保護管(別途)を使用し、土中結線はしない。
不備があると、感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

- 必ず適合器具と組み合わせて使用してください。器具側の承認図を確認してください。
器具落下の原因となります。
- 耐風圧性能は設計風速、使用する灯具、アーム、ポール及び基礎の大きさで決まります。
事前に強度確認のうえ使用してください。
ポール転倒の原因となります。
- ポールの仕上げは錆止め塗装までです。現場で必ず上塗り塗装を行ってください。
(上塗り塗料は別途用意してください。)
腐食によるポール折れの原因となります。
- 上塗り塗装前に下地(錆止め塗装面)のゴミ・油分・汚れ等を取り除いてください。
密着性能が著しく低下する場合があります。
- ポールは必ず垂直に建柱してください。
ポール転倒の原因となります。
- ポールの地際部は必ず水切り用の
コンクリート根巻きをしてください。
腐食によるポール折れの原因となります。
- 排水処理を行い、ポール下部に川砂等を充填し、
ポール内に湿気が充満しないように施工してください。
絶縁不良による感電や腐食によるポール折れの原因となります。
(図1にその一例を示す)
- ケーブル保護管のG.Lからの高さは承認図を確認してください。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用してください。
けがの恐れがあります。



各部の名前と取り付けかた



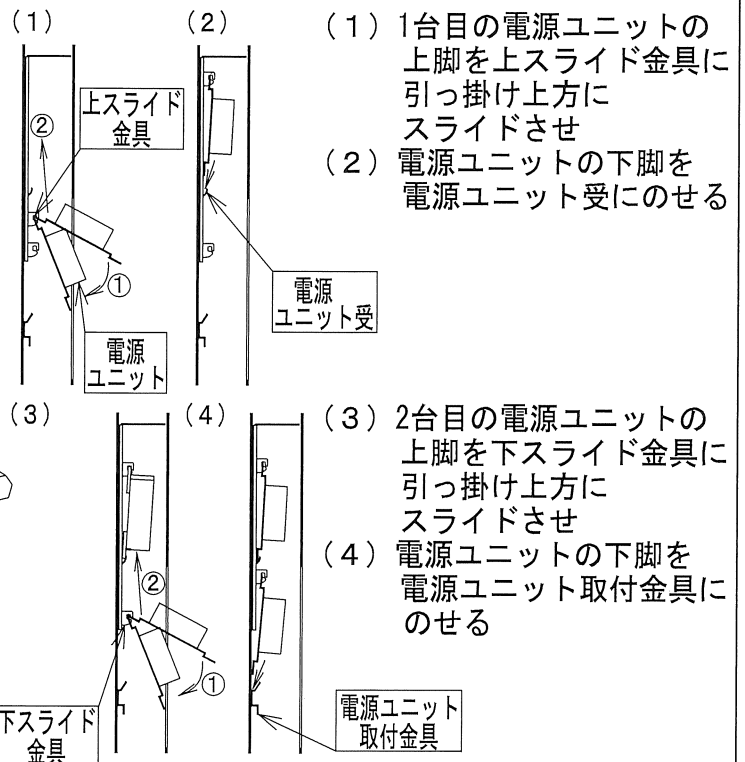
1. ポールの建柱を行う。

- ・ポールは必ず垂直に建ててください。
ポールがかたむくと灯具落下の原因となります。
- ・ポールは地際部を必ずコンクリート根巻きしてください。
(根巻きの詳細については前ページを確認してください。)
- 腐食によるポール折れの原因となります。
- ・湿気がポール内に充満しないように施工してください。
(詳細については前ページを確認してください。)
- 絶縁不良による感電・腐食によるポール折れの原因となります。

2. 電源用・灯具用ケーブル(別途)をポールに通す。

3. 電源ユニット(別途)をポールに収納する。

〈電源ユニット収納手順〉



- ・1台目の電源ユニットにはあらかじめ継ぎ線をしておいてください。
- ・電源ユニットが完全に引っ掛かったのを確認してから手を離してください。
電源ユニットの引っ掛かりが不十分な場合は電源ユニットの落下の原因となります。

4. スイッチ(別途)またはジョイントユニットQ68(別途)を付属のねじでスイッチ取付台に取り付ける。

(この絵はモデル図です)

5. 電源用・灯具用ケーブルと電源ユニット・スイッチ間の結線を行う。

- ・スイッチ取付台の接地端子を使用して接地工事を確実に行ってください。
(結線方法・設置工事の種類は灯具・電源ユニットの取扱説明書を確認してください。)

接地が不完全な場合は、感電の原因となります。

- ・電源ユニットの表面は高温となりますので、ケーブルと電源ユニットは極力接触しないように施工いただくか、接触する場合はケーブルの接触部に耐熱テープ巻き等の処理を施してください。
絶縁不良による感電の原因となります。

6. スイッチ取付台を固定用ボルトでポール内に固定する。

7. ポール蓋を蓋取付ボルトでポールに固定する。

- ・ポール蓋は必ずパッキンの切り欠きが下になるように取り付けてください。
パッキンの切り欠きが上になるように取り付けた場合は、ポール内部への浸水によって、腐食によるポール折れおよび結露による絶縁不良の原因となります。

- ・蓋取付ボルトは確実に締め付けてください。

推奨締め付トルク：2 N・m

蓋取付ボルトの締め付けが不十分な場合は、ポール内部への浸水によって腐食によるポール折れおよび結露による絶縁不良の原因となります。

8. ポール上塗りを行う。

- ・上塗り塗料は別途用意してください。
- ・上塗りには地際部も含めて確実に行ってください。
上塗りが不十分な場合は腐食によるポール折れの原因となります。

ポール蓋パッキン

ポール蓋

施工年月日
記入ラベル

パッキンの
切り欠き部を下にする

⚠ 注意

- ・ポール蓋を外して、別々に上塗りを行ってください。
ポールの塗装が完全に乾くまで、ポール蓋を固定しないでください。
- ・ポール蓋のゴムパッキンにポールの塗料が付着してそのまま固まってしまうと、ポール蓋を外す時にパッキンが裂ける原因となります。

施工年月日記入のお願い

- ポール蓋裏面に貼り付けられた右図ラベルの
施工年月日記入欄に施工年月日を記入してください。

本ラベルは、白地のラベルに透明ラベルを
貼り付けた二重構造ラベルとなっています。

(注意)

透明ラベルの隅が浮き上がっていたり、
気泡が入っていると
ラベルの剥れや水分の浸入により
記入項目が消えてしまう恐れが
あります。

この部分は
あらかじめ透明ラベルが
貼り付けられています。

この部分は
あらかじめ透明ラベルが
台紙ごと浮いている状態で
納入されます。

〈施工年月日記入ラベル〉

⚠ 警告

ポールには寿命があります。

●標準条件で使用できる期間 10年
経年劣化が進行したポールをそのまま
使用し続けると腐食によるポールの
倒壊や錆部からの水の浸入による
感電、火災の原因となります。

●定期的に点検をしてください。
1年に1回は「安全チェックシート」
に基づき自主点検をしてください。
3年に1回は工事店等の専門店に
よる点検をお受けください。
必要に応じて補修、交換をお願い
いたします。

●施工時に下表へ施工年月日を
ご記入ください。

記入後、透明ラベルを上から
貼り付けてください。

施工年月日

この空間欄部分に、油性マジックで施工年月日を記入してください。
記入後、透明ラベルを台紙から剥がし、白地ラベルの上から確実に貼り付けてください。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- ポールを改造しない
ポール折れ・灯具落下の原因となります。
- ポールを故意にゆすったり、ポールに衝撃を加えたりすることは絶対に行わない。
ポール折れ・落下事故の原因となります。
- ポールにぶら下がったり、上に登ったりすることは絶対に行わない。
ポール折れ・落下事故の原因となります。
- 異常状態のままで使用しない。
万一、塗装がはがれている状態や、ポールの腐食が著しい状態等、異常状態のままで使用するとポール折れの原因となります。
すぐに工事店に修理を依頼してください。

注意

- ポールの配線工事は、必ず工事店・電気店(有資格者)に依頼してください。
一般の方の施工は、法律で禁止されています。
- お手入れの際にはポールにハシゴ等をかけないでください。
ポール折れ・落下事故の原因となります。
- ポールの塗装面には、ラッカーシンナー・メラミンシンナー系の溶剤を使用しないでください。
塗装面が侵され、塗膜が著しく劣化します。
- ポールには寿命があります。
使用環境によるストレスにより腐食や金属疲労等の劣化は進行しています。
点検・補修・交換してください。
・塩害地域、植栽のなかに設置の場合などは寿命が短くなります。
・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
(チェックシート番号: CLX2021MA)
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに折れ・落下に至る場合があります。

保証について

- 1: 保証について
この商品の保証期間は1年間です。
但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログを確認してください。
- 2: 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月～土/9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からでもご利用になれます。

0120-872-460 (FAX) Help desk for foreign residents in Japan Tokyo(03)3256-5444 Osaka(06)6645-8787 Open:9:00-17:30(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

KK0423-010423